

◆国内外に向け、企画発表会を東京で開催！



上：あいさつする宮田文化庁長官
左：文部科学省記者会見室での企画発表会

6月29日（水）に、国家プロジェクトである東アジア文化都市事業を国内外に広く発信するため、文部科学省の記者会見室を会場に、宮田亮平文化庁長官や寧波市・濟州特別自治道の関係者、基幹事業各部門のディレクター等も出席のもと企画発表会を開催しました。

会場には新聞社やテレビ局、雑誌社など、多くのマスコミ関係者が取材に訪れました。

宮田長官からは「文化芸術を通じて東アジア域内での相互理解と連帯感の形成を促進することが本事業の目的であり、より良く、深い交流ができることを期待しています」との挨拶があり、仲川市長は「東アジア文化都市の一開催地という立場に加えて、文化の多様性と包摂性を大切にしてきた古都奈良という責任と役割を果たしていきたい」という思いを語りました。

今回、中国・寧波市からは文化広電新聞出版局の韓小寅（カンショウイン）副局長が、韓国・濟州特別自治道からは権永洙（クォンヨンス）行政副知事が出席され、それぞれの東アジア事業への取り組みについて発表しました。このほか、アドバイザーの北川フラム氏、舞台芸術部門ディレクターの平田オリザ氏、VI ディレクターの浅葉克己氏らが「古都祝奈良 - 一時空を超えたアートの祭典」各事業について説明しました。



寧波市の事業について説明する韓副局長



濟州道の事業について説明する権行政副知事



美術部門の説明をする北川氏



舞台芸術部門の説明をする平田氏



ロゴやポスターについて語る浅葉氏

◆『Nara Food Caravan Project』がスタート



第1部 トークショー



第2部 ポップアップレストラン



調理する船越雅代ディレクター



大和ポークの東坡肉



奈良産のプラムとクコの実の杏仁豆腐

6月26日(日)に食部門のスタートとして『Nara Food Caravan Project』キックオフトークイベント+ポップアップレストラン Vol.1を開催しました。第1部では藝育カフェ Sankaku を会場に、食部門ディレクターの船越雅代氏と食部門の記録映像を担当する映像監督の二宮宏央氏が、『Nara Food Caravan Project』をどのように展開していくかについて語りました。また、映像の音楽を手掛けるトウヤマタケオ氏のミニライブも行いました。

第2部では、江戸時代末期に建てられ奈良市指定文化財となっている商家「青田家住宅」を改装した Naramachi Hostel & Restaurant を会場に、船越氏が手掛けるポップアップレストランの第一弾を開催しました。今回は、奈良女子大学「奈良の食プロジェクト」との合同チーム「HIVE」の皆さんがレストランを一から作り上げることに挑戦。船越氏とともに素敵な一夜を演出しました。

第1部、第2部ともに満席となり、参加者は素敵なトークと料理を満喫しました。

担当：奈良市東アジア文化都市推進課
電話：0742-27-0120
FAX：0742-27-0121
Mail：culturecity-nara@city.nara.lg.jp



公式HP



Facebook



Twitter